

令和6(2024)年度第1回学術システム研究センター運営委員会

議事概要

1 日時 令和6年7月24日(水)10:00~12:00

2 参加者

(委員)

山本委員長、相澤委員、井上委員、喜々津委員、栗原委員、瀧澤委員、辻中委員、永田委員、
林委員、宮嶋委員、吉野委員

(役員)

杉野理事長、水本理事、小谷理事、速水監事、米村監事

(学術システム研究センター)

大野所長、岸本副所長、西田副所長、福田相談役、佐藤顧問、黒木顧問

(事務局)

岡本経営企画部長、金子事務長

3 議事概要

<議題>

- (1) 前回議事概要(案)について
- (2) 令和7(2025)年度新規研究員候補者の推薦状況について
- (3) 令和7(2025)年度主任研究員選考に係る学識経験者について

(1) 前回議事概要(案)の承認について

資料1に基づき、事務局より説明があり、令和5(2023)年度第2回学術システム研究センター運営委員会議事概要の内容及び公開について了承された。

(2) 令和7(2025)年度新規研究員候補者の推薦状況について

資料2に基づき、事務局より、令和7年度の研究員候補者については、76機関から431名(うち女性55名)の推薦を受け付けた旨、専門調査班別、年齢・男女別の推薦状況や、これまでの推薦数の推移を紹介しつつ説明があった。

(3) 令和7(2025)年度主任研究員選考に係る学識経験者について

資料3に基づき、事務局より説明があり、意見交換が行われた。一部の班の学識経験者で所属機関や専門

分野のダイバーシティについて委員より指摘があったため、候補者を再検討することとなった。また、以下のように意見交換が行われた。

- 今後はこれまでの研究員の専門分野の情報があると、過去の体制を参考にその年の候補者の人選について確認し易いのではないか。
- 学識経験者は主任研究員候補者と分野に近い方がよいが、ダイバーシティがあってもよく、閉じたコミュニティでの意見とならないためにも、第三者的な視点があった方がよい。

<報告>

(1) 令和6(2024)年度学術システム研究センターの体制変更等について

資料4に基づき、事務局より研究員1名の交替について報告があり、以下のように意見交換が行われた。

- 学術システム研究センターの研究員の確保・体制整備はイギリスの王立協会などを参考に、研究動向をキャッチし新しい血を入れることを意識して貰うとよい。